

平成 29 年度定例会 9 月会議開会挨拶（平成 29 年 9 月 15 日開催）

平成 29 年度定例会 9 月会議の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本定例会 9 月会議は、各会計の決算等を審議する重要な議会であります。決算については、審査特別委員会で審議することとなります。

決算審査に合わせて示される行政評価・事務事業評価については、施策や個々の事務事業が、効率よく、効果的に施行されているかを検証することを目的に、まちづくり基本条例に規定されており、平成 20 年度に 3 事業を試行実施、21 年度には本格導入され 30 事業を実施、28 年度分から該当する全ての事業を対象とし、町部局 44 事業、教育委員会部局 27 事業と計 71 事業について評価が示されることとなりました。

議会としても、チェック機能の強化として議会基本条例に規定し、議会の評価を示し、事務事業の計画精度向上、執行の適正化、政策形成過程の情報共有化を図る一環とし、新年度予算へ政策意思の循環を目指す大事な検証と位置付けられております。

行政の PDCA サイクルに議会がどのように係るかは、議会活動の重要な視点であり、行政としっかり対峙し、より住民の側に立った批判・牽制・監視・評価の姿勢が議会・議員の役割としっかり認識して活動に努め、町民が実感できる政策を積極的に提言することが求められております。

厳しい財政状況の中で、「最小の経費で最大の効果をもたらす事を心掛けること」を再確認する良い機会と捉え臨んでいただきたいと思っております。

議員各位には、活発な討議が展開されますことを願っております。

福島大神宮の祭りも近づき、秋の色合いとなつてまいりました。

朝晩は、徐々に冷えてまいります、出席者各位には、お体ご自愛の上、本会議の議事運営に協力をいただきますよう、お願い申し上げ開会の挨拶といたします。